



歌劇を世界へ 102年目の使命と挑戦 飛翔!!

OSK日本歌劇団(〇)出身の笠置シズ子モデルにした朝の連続テレビ小説「ブギウギ」(令和5/2023年10月から放送開始)に現役劇団員として出演した翼和希さん。「舞台上に立っていることに感謝」と語る翼さんに、歌劇との出会いから、OSK日本歌劇団が積み重ねてきた歴史を後世につなぐ使命と自身の挑戦について伺いました。

出会いとなります。

「男役がかっこいい、私もやりたい」と衝撃を受けた翼さんは、そこから突き動かされるように芸の道へ進みます。はじめは、バレエ教室。そして、歌や踊りなど、歌劇団に入学するための教室に毎日通いました。遅刻ギリギリに登校し、終電を逃す日もあるほどレッスンに明け暮れた日々でした。

周りの支えで夢に一直線

体をしぼるために食事制限を行うなど、すべては舞台人になるため。これまで何もやってこなかった芸事を一から覚える生活を支えてくれたのは、自分の決断を信じてくれた家族、熱心に教えてくれた教室の先生、自分の夢を応援してくれた友だちや学校の先生でした。将来を見据えながら夢を叶えるため、芸事のレッスンだけではなく、勉強との両立にも励みました。

突き動かされて芸の道へ

「歌劇に出会うまでは、人前で何かするのにも恥ずかしい、バレエボール部に所属する普通の中学生でした」と話す翼さん。

演劇部に所属していた姉が、文化祭の題材を選んだために借りてきた歌劇のビデオをたまたま見たことが、運命の

OSK日本歌劇団

大正11(1922)年に松竹楽劇部として大阪に誕生し、令和4(2022)年に創立100周年を迎えた。大正、昭和、平成、令和という激動の時代の中で、世界でもめずらしい「少女歌劇」文化を継承すべく果敢に歩みを進めてきた。朝ドラヒロインのモデルである「笠置シズ子」は、昭和2(1927)年にOSK日本歌劇団(当時:松竹楽劇部)に入団。松竹座にて歴史に残る黄金時代を築いたのち、「東京ブギウギ」や「買い物ブギ」を大ヒットさせる。

ワクワクの研修生時代

高校卒業後に、OSK日本歌劇団の入団が決まります。まずは、研修所に入所し、研修生としてスタートしました。

「演劇、タップ、日舞など来る日も来る日も新しいことを学び、挑戦できた貴重な2年間。毎日ワクワクしていました」と、翼さんは研修所時代を振り返ります。

「やればできるではなく、できるようになるまでやれば、必ずできる」と、持ち前の負けず嫌いを発揮し、同期と切磋琢磨しながら、芸を磨いていきます。

使命を背負い、挑戦

朝ドラの出演についても、「OSK日本歌劇団の劇団員として何とんでもない役を取りたい」と、ヒロインのオーディションに挑みました。

「笠置シズ子さんは華奢だと聞いていたので、ヒロインじゃなくても、どんな役でも演じたいと、OSKのみならず勇んで受けました」と、オーディション時の胸の高鳴りを語る翼さん。

「OSKで培ってきた10年をすべて出しきよ、オーディション会場は自分のソ



ロ舞台」という意気込みで挑戦し、審査員の印象に残るために、スーツにリーゼントで登場。笑いをとる、演技にアドリブをいれるなど全力を尽くした結果、見事ヒロインの先輩、橘アオイ役をつかみとります。

演じることで歴史を体験

ひとりでも多くの人にOSK日本歌劇団を知ってもらおう使命を背負い、演

じぎった翼さん。

歌劇団のたくましさを積み重ねてきた歴史の重さをこれまで以上に痛感したそうです。

「今回の役で、女性の参政権すらまだないような時代にストライキを行い、自分が舞台に立つことをあきらめてでも、歌劇団の伝統を守った先輩たちの劇団愛を体験できました。そして、これまで以上に継続していかねばならない使命感が強くなりました」とこれからの決意を語ります。

OSK日本歌劇団

翼 和希 つばさ かずき

Profile

- 4月15日生まれ。大阪府枚方市出身。
- 平成25(2013)年4月にOSK日本歌劇団に入団し「レビュー春のおどり」で初舞台。
- 平成28(2016)年「Wake up!」で小フロア公演初主演。
- 平成30(2018)年「Revue Japan」で中劇場公演初主演。
- 令和4(2022)年「たけふレビュー」(福井・越前市)で大劇場公演初主演。
- 同作品は、地元枚方市にて凱旋公演として上演。
- 令和5(2023)年10月からスタートの朝の連続テレビ小説「ブギウギ」に橘アオイ役として出演する。



支えあって成長できる

OSK日本歌劇団は、地域や社会への貢献活動の一環として、中学校などでライオンダンスの出張授業を行っています。

「障がいのある子どもが手だけでも踊ろうとしているのを見ると涙がでるほどうれしいです。温かいエネルギーに元気をもらっています」と翼さんは話します。
 「自分の知らないところで誰かが支えてくれている、みんなが支えあうことでお互いが幸せになり、成長できる」
 舞台を観に来てくださる車いすの高齢者の方や障がいのある方に付き添う福祉関係者についても、支えてくれる存在としてありがたく感じています。

舞台に立てることへの感謝

お金と時間を使って舞台を観に来てくださるお客様、支えてくださっているスタッフ、歌劇団を守ってくれた先輩たちなど、舞台に立つ環境を作ってくれているすべての人への感謝を強く感じているという翼さん。

上演が中止・延期になった「コロナ禍を経験したことにより、『舞台に立ちたい』から『立たせてもらっている』という気持ちの方が、より強くなったそうです。

飛翔！歌劇を世界へ

「OSKの魅力は、日々同じメンバーでやっているからこそ生まれる団結力、

100年以上受け継がれてきた伝統や精神、そしてそこから生み出される舞台です。世界中の人が日本の文化である歌劇を生舞台で体感してほしいです」
 テレビなどメディアの出演が増え、多忙な中での本紙の取材も、「ご縁をいただけて感謝」と語る翼さん。「翼を広げ、鳥が羽ばたくように、干支の辰が空を駆けあがるように、世界にむけて飛翔されることが期待されます。」

読者プレゼント

応募締切 2月16日(金)

アンケートに
 答えていただいた方から

抽選で1名様
 直筆サイン色紙プレゼント!

左記の2次元コードから応募フォームにそってご回答ください。
 ハガキ・FAXでのご応募はHPをご確認ください。
 ご応募お待ちしております。

- ※ 当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。
- ※ 応募者の個人情報はプレゼントの発送のみに使用します。
- ※ 重複応募・必要事項の入力漏れは無効となりますのでご注意ください。



翼 和希さん出演

OSKの素晴らしさを生で体感!

詳細はこちらから

レビュー
 春のおどり



令和6(2024)年4月6日(土)~14日(日) 大阪松竹座

